

■枚方市スポーツ推進計画アンケート調査実施概要（案）

（1）市民

項目	内容	
調査目的	<p>○市民の運動・スポーツへの関心度と実施状況、運動・スポーツ習慣のある人・ない人の特性を把握する。</p> <p>○市民が運動・スポーツを実施するにあたって支障となっていることや問題点を把握する。</p> <p>→上記結果の分析を通じ、市民の運動・スポーツ習慣向上のために検討すべき方策の示唆を得る。</p>	
調査対象	枚方市内在住の満18歳以上の男女個人2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)	
調査方法	郵送調査法（はがきによる礼状兼督促状を対象者全員に送付）	
回収見込数(率)	1,000人(50%)以上 *参考 H27.11実施の市民意識調査(20歳以上の市民対象) 54.4%(1,361件/2,500件)	
主な質問項目案と結果の活用	<p>◆回答者の基本属性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢 ・職業 ・居住地区（中学校区） ・自身のふだんの運動量に対する見方（足りている・不足している） ・運動やスポーツに対する関心度 	<p>【主な結果の活用】</p> <p>男女、年代(世代)、就労状況、地区、関心度等、対象者の各特性に応じた運動・スポーツの促進方策の検討</p>
	<p>◆運動やスポーツの実施状況(観戦含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの週あたりの実施回数 ・よく観戦するスポーツ 	<p>【主な結果の活用】</p> <p>○計画の成果指標の設定(スポーツ実施回数)</p> <p>○スポーツ習慣のある人・ない人の特性の違いから習慣づけにつながる要素の抽出</p> <p>○スポーツ習慣がない人に対する活動のきっかけを提供するための方策の検討</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・(実施者)運動・スポーツを始めた時期 ・(実施者)運動・スポーツを始めたきっかけ ・(実施者)行っている運動・スポーツの種目 ・(実施者)運動やスポーツを主に一緒にする相手 ・(実施者)運動やスポーツを行う場所 ・(未実施者)運動やスポーツをしない(しなくなった)理由 ・(未実施者)運動・スポーツをしなくなった時期 	
	<p>◆運動やスポーツの今後の実施意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの実施意向(新規・継続) ・(意向有)行いたい運動・スポーツの種目 ・(意向有)運動やスポーツを主に一緒にしたい相手 ・(意向有)運動やスポーツを行いたい場所 ・運動やスポーツを行う場合の問題点 	<p>【主な結果の活用】</p> <p>スポーツ習慣がない人に対する活動のきっかけを提供するための方策の検討</p>

(2) スポーツ関係団体

項目	内容	
調査目的	<p>○スポーツ関係団体の活動状況、活動上の問題点・課題、今後の活動の方向性などを把握する。</p> <p>○関係団体の視点でみた枚方市における市民のスポーツ環境の良いところや欠点、改善すべき点などを把握する。</p> <p>→団体の育成・支援にあたっての行政の役割や市民の運動・スポーツ活動促進のための環境整備に求められる要件の洗い出しを行う。</p>	
調査対象	<p>○公益財団法人枚方体育協会の加盟団体（28 団体、地域総合型スポーツクラブ含む）</p> <p>○枚方市スポーツ少年団の登録団体（56 団体）</p> <p>○枚方市スポーツ推進委員</p>	
調査方法	<p>スポーツ振興課を通じ加盟団体の代表者、スポーツ推進委員にアンケート調査票を配布・回収</p>	
主な質問項目案と結果の活用	<p>◆体育協会・スポーツ少年団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種目、登録者数(性別・年齢構成)、活動開始時期 ・現在抱えている活動上の問題点・課題 ・市のスポーツ推進における団体の役割 ・活動の活性化にあたって行政に期待すること ・活動場所、活動場所の評価、改善点 など 	<p>【主な結果の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団体の活動の現状や抱える課題などから、行政による団体の育成・支援に向けたあり方(支援内容、行政と団体の役割分担等)の検討 ○スポーツ環境を充実していくために市がすべき方策の検討
	<p>◆スポーツ推進委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、活動地域、活動期間、自身のスポーツ実践経験(年数、種目等) ・スポーツ推進委員としてのやりがいを感じる事、スポーツ普及のために心がけていること ・活動上の悩みや課題 ・活動の活性化にあたって行政に期待することなど 	<p>【主な結果の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委員の活動の現状や抱える課題などから、行政によるスポーツ人材育成のための方策の検討 ○スポーツの普及啓発役としての活動のあり方検討

(3) 子どもを対象とするスポーツ指導者

項目	内容	
調査目的	<p>○子どもを対象としたスポーツ指導者の指導にあたっての方針や指導・育成方法の現状などを把握する。</p> <p>→指導方法のあり方、指導者として求められる資質・スキルなど、スポーツに関わる人材育成やそのための支援に必要な要件の洗出しを行う。</p>	
調査対象	<p>○体育協会やスポーツ少年団において、子どもにスポーツを指導している人</p> <p>○中学校の部活動の指導教員</p>	
調査方法	スポーツ振興課を通じ、各指導者にアンケート調査票を配布・回収	
主な質問項目案と結果の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・所属組織(学校、団体)、指導種目、指導人数(性別・年齢構成)、指導経験年数、自身のスポーツ実践経験(年数、種目等) ・指導にのぞむ基本的な考え方(勝つこと・うまくなることを重視するのか楽しむことを重視するのか等)、自身の指導方法に対する自信の有無 ・指導において配慮していること(体罰、子どもの能力・特性等) ・子どもたちからの指導に対する評判(自己評価) ・自身のコーチングスキル向上のために行っていること・行いたいこと ・やりがいや指導のむずかしさ など 	<p>【主な結果の活用】</p> <p>○指導にあたって理念や価値観など指導者の現状をふまえた人材育成のための支援方策の検討</p> <p>○児童・生徒のスポーツ活動の指導者としての能力の底上げのために求められる課題の抽出</p>